

曲 瀬 ダ ム



H15年度撮影



【ダムの概要】

所在地	福岡市早良区大字曲瀬
型式	重力式コンクリートダム
目的	水道
堤高	45.0m
堤頂長	160.0m
集水面積	11.4km ²
有効貯水量	2,368千m ³
河川名	室見水系八丁川
粗石混じりコンクリート、表面 御影石布積	

昭和60年、厚生省(現厚生労働省)の記念事業である「近代水道百選」の一つに選ばれています。



福岡市水道局

水道と曲渕水源地のあゆみ

近世 井戸、松原水（松原水売りは、大正12年3月31日まで）
 福岡平野の地層は、所によっては優良な飲み水が湧き出ること
 もありましたが、全般的に塩分や鉄分の含有量が多く、飲料
 水として適していなかったため、このような地域の住民達
 は、優良な水を購入していました。



松原水売りの車

明治22年(1889) 福岡市制施行
 市域5.09km² 人口50,848人

英国人技師ウィリアム・バルトン、上水道計画調査実施



ウィリアム・バルトン(1855~1899)

29年(1886) 上水道計画本格化、広島・長崎視察
 水源地候補：篠栗川

36年(1903) 福岡市周辺の地勢・地質調査

41年(1908) 水源地の候補を曲渕（早良郡内野村）とする

大正2年(1913) 上水道創設事業認可

4年(1915) 用地買収・水利権協議開始

5年(1916) 曲渕水源工事着工



建設現場へ材料を
運搬する様子



配水管工事の様子

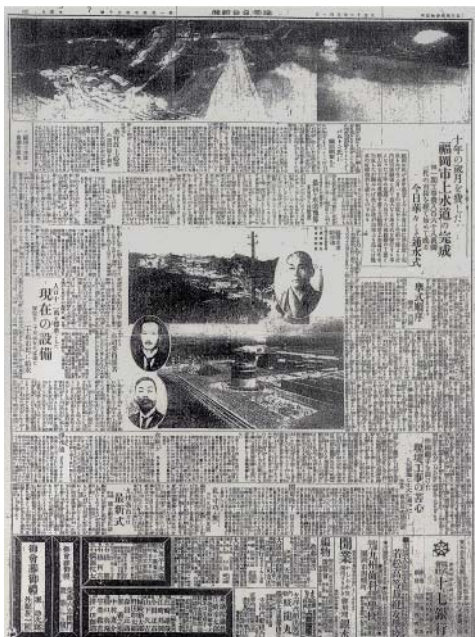
11年(1922) 福岡市にコレラ発生（患者176名中、79名死亡）

12年(1923) 曲渕ダム・平尾浄水場完成
 福岡市域20.68km² 人口142,519人

曲渕ダム・平尾浄水場施設能力

給水区域 市内一円、糟屋郡箱崎町等
 給水記域内人口 178,363人
 給水人口 35,200人 給水戸数 7,245戸
 給水普及率 19.7%
 1日平均給水量 6,191m³

水道の完成を伝える当時の新聞(大正12年3月1日福岡日日新聞)



福岡市民が多年渴望した上水道は茲に芽出
 度く完成を告げ今三月一日の吉辰をトし午前
 十時より市内抜天運動場に於いて盛大なる通
 水式を挙行することになった。

十年の星霜と八百六十八萬圓の工費と延人
 員七十萬の労働を要した福岡市の上水道は今
 や完成したが顧みれば此の上水道が出来上
 る迄には幾多の紆余曲折を経たものである。

☆工費の868万円は、現在の価値に換算すると約48億円
 (日本銀行資料より)、大正12年本市の予算は、約260万円で
 した。

大正12年(1923) 水道の使用を普及させるため、
「上水の葉」を市民に配布

上水の葉

水道の供給は開始されましたが、市民の中にはその良さがわからない人もいました。そこで、「水道之葉」を配布し、水道の利用を呼びかけました。



主な内容
「コレラでも、チブス赤痢もなんの
その、水道ひけば家内安全」
「料理に使えば、味よく、柔らかく
煮え、ねまり方(腐り方)もおそい」

大正元年から始まった隣接町村との合併によって、人口・市域面積ともに急ピッチで拡大し、昭和4年末には総人口213,751人、給水人口128,000人、一日最大給水量は16,000 m^3 となり、これは、給水人口において8,000人、施設処理能力において1,000 m^3 オーバーしており、高台ではしばしば断水騒ぎがおこるようになりました。

昭和6年(1931) 曲淵水源拡張工事(～昭和9年)
曲淵ダム堤体の嵩上げ、平尾浄水場の拡充等



拡張工事の様子

51年(1976) 平尾浄水場廃止(55年福岡市植物園開園)

平成元年(1989) 曲淵水源堤体改良工事(～平成5年)
老朽化・漏水対策等

平成21年(2009) 福岡市有形文化財(建造物)に指定される



福岡市有形文化財指定記念碑

日本で古いダム ベスト5

- 第1位 布引五本松ダム(神戸市) 1900年竣工 重要文化財
- 第2位 本河内低部ダム(長崎市) 1904年竣工
- 第3位 西山ダム(長崎市) 1904年竣工
- 第4位 立ヶ畑ダム(神戸市) 1905年竣工 登録文化財
- 第5位 乙原ダム(別府市) 1916年竣工

平尾浄水場配水池点検用通路入口建物



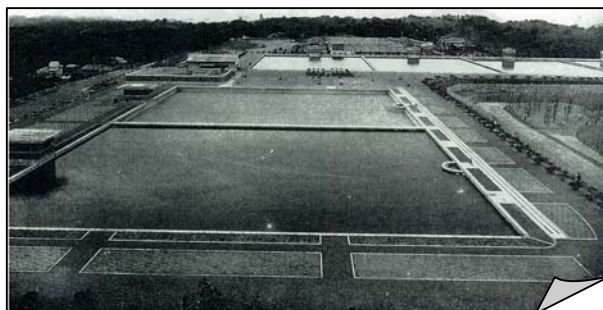
平尾浄水場の配水池点検用通路の入口に利用されていたもので、創設当時に設けられた。水道創設を物語る記念モニュメントとして、福岡市植物園に今も残されている。平成21年曲淵ダムとともに福岡市有形文化財に指定。



配水池工事の様子



ろ過池工事の様子



完成した平尾浄水場